

とうにょうびょうもうまくしょう 眼底出血(その2): 糖尿病網膜症

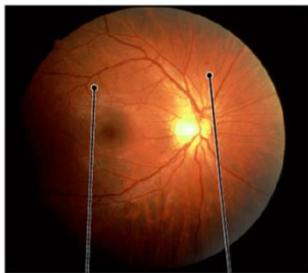


こんにちは。院長の梅津由子です。

今月は眼底出血の2回目として糖尿病網膜症を取り上げてみました。そもそも糖尿病は生活の欧米化に伴い、年々増加傾向にあります。日本では約890万人が糖尿病かその疑いが強いといわれています。しかもそのうちの4割がほとんど治療を受けたことがないそうです！！

糖尿病の3大合併症に、糖尿病神経障害・糖尿病網膜症・糖尿病腎症があります。これらは糖尿病特有の合併症で、糖尿病発症から血糖コントロールをしないまま10年～15年経過すると出てきます。糖尿病網膜症は以前失明原因のトップでした。今は緑内障に1位の座を譲りましたが、1年に約3000人が網膜症が原因で失明しているといわれています。

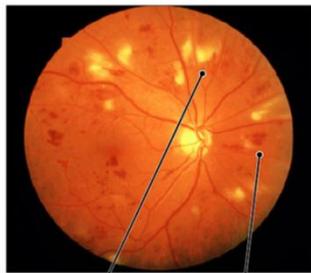
単純網膜症



毛細血管瘤

点状出血

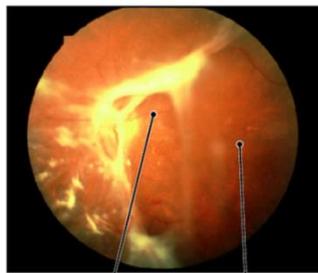
前増殖網膜症



軟性(綿花様)白斑

斑状出血

増殖網膜症



増殖膜

硝子体出血

糖尿病網膜症はその進み具合により大きく3段階に分けられます。

単純網膜症は針の先のような小さい点状出血や毛細血管が膨らんでできる毛細血管瘤などがちらほら認められます。

前増殖網膜症になると、軟性白斑という血管がつまってできたシミが多数

出てきたり、大きな出血が増えたり、血管がつまって網膜の一部が酸素欠乏になったりします。かなり進行した段階ですが、ほとんどの場合視力に影響がありません。

さらに進行して増殖網膜症の段階になると、新生血管という脆い血管が伸びてきて大きな出血を起こしたり、増殖膜という余計な膜ができて網膜剥離を起こしたりと視力に大きな影響が出てきます。

網膜症で失明しないためには、前増殖網膜症の段階で治療をするのが最も効果的です。そのためには自覚症状に頼ってはいけません。糖尿病と診断されたら、定期的に眼科を受診して眼底検査を受けることが大切です。

ホームページ <http://www.hanazawa-eye.com>

受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30~1	☺	☺	☺	☺	☺	
2:00~	☺	☺		3:00 6:30	☺	☺

〒992-0022 米沢市花沢町2695-1

0238(40)0606

土曜日は昼休みなく、8:30~15:00まで

初めてコンタクトをおつくりする方の受付は
早めに終了します。(終了時間の1時間前)

目玉いきいきライフ

目玉いきいきライフのコーナーでは、目の健康に関する情報や、耳より情報（眼科だけどっ）をお届けします。



もうすぐ学校検診が始まります

学校検診では学業への影響があるかどうかの検査を行います。また、目の疾患があるかどうかをみます。再検査の通知をもらったら、まずは眼科を受診しましょう。

学校検診で通知される目の疾患

斜視、結膜炎、眼瞼の皮膚炎、内反症、麦粒腫、霰粒腫など、治療が必要な場合もあります。また、はやり目のようなうつる結膜炎もあるので、早めに受診しましょう。



学校検診で通知される視力の目安

- A(1.0以上): 教室の一番後ろの席からでも黒板の字を楽に読めます。
- B(0.7~0.9): 教室の真ん中より後ろの席にいても黒板の字をほとんど読めますが、小さい字になると見えにくいものがあります。
- C(0.3~0.6): 真ん中より前の席でも小さな文字が半分くらいしか読み取れません。
- D(0.2以下): 一番前の席に座っても、眼鏡がなければ、はっきり読み取れません。



眼科で行う視力検査

屈折検査、視力検査（遠方・近方）があります。必要に応じて、眼鏡処方や、さらに詳しい検査を行います。

さらに詳しい検査って？

ものを見ようとするとき、眼の中の筋肉が緊張して、ピント合わせを行います。この働きを「調節」と言います。目の屈折度（遠視・近視・乱視）は調節を休めた状態で決まりますが、小児では調節を上手に休ませることができません。そのため、正確な度数を測定するには、調節を休める目薬をした上での屈折検査が必要になります。目薬をして1時間かけて散瞳し（瞳孔を大きく開く）、この状態で屈折検査、視力検査を行います。散瞳後はいつもよりまぶしく感じたり、近くのものが見えにくくなります。瞳が元の状態に戻るまで1日ぐらいかかります。



近視の場合

近視では、日常生活に不自由がなければすぐにメガネをかけなくても大丈夫ですが、後ろの席で黒板の字が見えにくくなったら、眼鏡を用意した方が良いでしょう。眼鏡をかけたりはずしたりしたからといって、近視の度数が進むことはありません。見えないのに無理をしていると、目が疲れやすくなり、授業に集中できなくなります。

遠視の場合

遠視では、絶えず目の調節を必要とするため、目と体が疲れやすく、学習の能率があがらない事があります。学校検診では発見されにくいので、目が疲れやすい、落ち着きがない、飽きっぽい、見えにくそうにするなど、あてはまる場合は、一度眼科で詳しい検査を受けることをお勧めします。

新学期も目玉いきいきライフ！！



編集後記

毎年のことですが、急に冬から春に変わるので我が家にはまだ冬物があふれています。こたつ、長靴、冬物の上着、もちろん車はまだ冬タイヤ。掃除のために冬の間閉め切っていた窓を久しぶりに開けると、春の風がなんと気持ちいいこと！早く片づけを終わらせて新緑の季節を思いっきり楽しみにかけよう♪

りっこ・ビビ・プッチ

